男女共同参画であなたもわたしもハッピーに

ウィズレター

第52号

発行　市川市 総務部 多様性社会推進課
市川市市川1-24-2　電話047－322-6700

市川市男女共同参画センターウィズ

男女共同参画センター（愛称　ウィズ）は、性別にかかわりなく対等な立場であらゆる活動に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現を目指すための拠点施設です。愛称の“ウィズ”は、男女ともに、老いも若きもともにという意味が込められています。

2023年1月発行

今回はパートナーシップ制度の届出をされたお二人にお話を伺いました。
お二人のお話を読んでLGBTQ+について考えるきっかけにするとともに、
誰もが自分らしく生きることができる社会について考えてみませんか。

LGBTQ＋とは…「レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニング／クィア」の頭文字と、これらには含まれないセクシュアリティを意味する「＋」を組み合わせた言葉です。性的マイノリティの総称として扱われることがあります。

－お二人の関係を教えてください－

貴文さん　お互い恋愛対象が男性で、2018年に結婚式を挙げました。今年2月には市川市でパートナーシップの届け出をしました。

－ご自身がゲイであることを認識したのはいつですか－

隼人さん　私は物心ついた時から男性の事が好きです。しかし、家族にそういうことを言うと、とても否定的なことを言われたことがあったので、誰にも伝えられないでいました。

貴文さん　中学生ぐらいの時に自分は男性が好きっていうことを認識したと思います。それまでは、恋愛感情まではないですが、女の子が好きという気持ちがありました。

－現在はカミングアウトされていますが、それはいつされましたか－

隼人さん　学生時代にカミングアウトできず、社会人になって貴文と出会ってからしました。お互いに結婚式とかその周りの人に祝福されて、自分たちも認められたいという気持ちがあったので、親や周りの友人にしました。

貴文さん　最初にカミングアウトしたのは二十歳ぐらいで、大学のゼミにいたレズビアンの女の子がきっかけでした。その子はとてもオープンでその姿を見て、僕も「カミングアウトしてもいいんだ」と思って、そこから友達に打ち明けるようになっていきました。

－お二人が子どもの時は今よりカミングアウトしにくい社会的風潮がありましたか－

貴文さん　当時は今ほどLGBTQ+を取り上げるドラマなどもなかったですし、今より理解は進んでいなかったと思います。テレビに出る人も面白おかしいような感じで「ゲイの人は面白いんでしょう」とか、「みんなおネエ言葉なんでしょう」みたいな偏見に近いようなものもあったように感じています。自分もゲイだと言ってしまうと同じように見られるのかなという不安はありました。

－今もLGBTQ+に関して理解が不足していると思うことはありますか－

隼人さん　周りの知人にLGBTQ+の話をすると「自分が襲われる」とか、「ゲイの人は男だったら誰でもいい」みたいに思っている人がいると感じますし、それを茶化す人もいたりします。そういう人たちには「自分の身近にもLGBTQ+の人はいるんだよ」ということを伝えていきたいですね。

貴文さん　「ゲイの人はこういう性格だよね」とか固定概念みたいなところがあるかなと思っていて、ゲイって言ってもいろんな性格の人がいることを分かってほしいなと思います。

－こういうことを言われたら傷つくことはありますか－

隼人さん　自分がゲイであることを伝えたときに「なんか大変だね」みたいに言われると少し嫌な気持ちになります。ゲイならでは幸せもあるので一括りになんか大変と思ってほしくないなと思います。

貴文さん　些細なことですが、「結婚式をやりました」って言うと「海外でやったの」とか言われて、日本でゲイカップルが結婚式あげてはいけないイメージが強いのかなと思います。決めつけられるとちょっと嫌だなっていうのがあります。

－誰もが暮らしやすい社会をつくるためにはどんなことが必要だと思いますか－

隼人さん　LGBTQ+に対する固定概念とか決めつけているところっていうのは、情報に触れてこなかった人たちが持っている印象があります。そのため、広報紙などで取り上げるなど、多様性に触れられる機会を増やしていくことが大切だと思います。

－パートナーシップの届け出をされたことによる暮らしの変化はありましたか－

隼人さん　今までは部屋を借りるときに私たちがパートナーであることを証明するものが何もなかったので苦労することがありました。今では、パートナーの証明書を提出することで部屋を借りやすくなったので、すごい安心感に繋がっています。今まではルームシェアとして家を借りていましたが、この関係を正直に打ち明けて部屋を借りられることも嬉しいです。

－最後にひとこと－

隼人さん　LGBTQ+の人口は全人口の13　人に1　人の割合でいらっしゃると言われています。そのため、あなたの地域にも必ずLGBTQ+の人はいらっしゃいます。その人たちに対して温かい眼差しでお互いに助け合っていける社会になれたらいいなと思います。

貴文さん　LGBTQ+の人は僕たちみたいにカミングアウトをしている人だけではありません。もしかしたら大事な友達だったり家族だったりがセクシュアルマイノリティという可能性もあるので、自分の放った一言が知らないうちに傷つけてしまうこともあります。LGBTQ+の人たちもいるということを頭の片隅において、日頃のコミュニケーションをしていただければと思います。

【LGBTQ+に関する相談窓口】
よりそいホットライン　TEL：0120-279-338
どんなひとの、どんな悩みにもよりそって、一緒に解決する方法を探す、24時間・365日の無料電話相談。専門の相談員が対応します。性別や同性愛などに関わる相談は、ガイダンス #4を押してください。

ヒューマンフェスタいちかわ２０２２を開催しました！

12月4日～12月10日の人権週間にちなみ、市川市ではヒューマンフェスタいちかわを開催しました。
ユネスコ国際平和芸術家の二村英仁さんのコンサートや、タレントのパックンマックンの講演など、非常に充実したイベントになりました。
ヒューマンフェスタは毎年実施を予定しているので、今回参加されなかった方も是非来年のフェスタにご参加ください。